

## 当日の研修内容

研修には7団体20人の学生が参加し、概要研修や基調講演を経てSDGsへの学びを深めた後に、大学生同士による自身の活動とSDGsとの関連性についての意見交換を行いました。活発な意見交換の後で、当日の研修を踏まえた団体ごとのSDGs宣言を作成してもらいました。

当日研修に参加した大学生



## 経短ごみゼロプロジェクト

高藤 陽さん  
(京都経済短期大学経営情報学科 2年)

宮川 勢以さん  
(京都経済短期大学経営情報学科 2年)

新谷 愛さん  
(京都経済短期大学経営情報学科 1年)

地元のお祭りや学園祭での屋台から出るごみを減らすために、リユース食器の導入をすすめ、かつ実践する活動をしています。地域のお祭りを主催される住民の方へのプレゼンや説明、段取りの調整などの作業を、自治体の方のサポートを得ながら挑戦しています。お祭り当日においても、エコステーションでの分別や食器回収などを実施しています。これらの活動から得られた知見をもとに、今後も地域が持続的にごみを減らしていくことができる仕組みについて考えていきます。

### SDGs宣言

リユース食器を使った世代間交流と、リユース食器に付随した環境問題の普及・啓発に取り組みたいと思います。私たちのリユース食器の貸し借りの活動を通じて、ごみが減るだけでなく、食器を借りる地域の高齢者とそれを受け取る若者との間に会話や交流が生まれるので、それをきっかけに地域福祉への貢献もできると思いました。高齢者と若者との世代間交流が深まれば、若者、高齢者が共に住みやすい街が作れるのではないのでしょうか。リユース食器の取組を学内から地域へと広める中で、多世代間の交流のきっかけや環境配慮に関する知識を学生、そして地域に提供したいと思います。



## 京都大学 エコ〜るど京大

山口真広さん  
(京都大学農学部 3年)

久保文乃さん  
(京都大学農学部 2年)

奥野真木保さん  
(京都大学農学部 1年)

団体の目的として、全員参加型の活動により学内の環境負荷を低減させることで、「持続可能なキャンパス」の実現を目指しています。目的達成のため、多様な視点から環境問題を考え、全学、そして地域も巻き込んだ活動を行っています。具体的には、学内外に向けたフリーマーケット、普段の食など持続可能性を繋げるイベント、たんすに眠っている着物を寄贈してもらい次世代へとつなぐ企画などを行っています。

### SDGs宣言

SDGsは多様なテーマを扱い、内容も世界規模とスケールの大きな話ではありますが、私達のような学生団体の活動とどう関連があるかを考えると、日々実施している地域を改善するような活動の積み重ねがSDGsの目標の達成へとつながることがわかりました。地域規模の活動が世界各地で実施されるようになれば、世界規模であるSDGsの目標は達成できるのではないのでしょうか。地域規模での取組を全て足し合わせることで、地球規模の問題を解決させるということが、私達が考えた答えです。



## 大阪大学環境サークルGECS

加賀 拓磨さん  
(大阪大学経済学部 3年)

近藤 舞さん  
(大阪大学文学部 2年)

宮原 昂希さん  
(大阪大学工学部 2年)

私たちは「学生」という立場から環境問題の改善に貢献する」という理念のもと、大阪大学の豊中キャンパスを拠点に大学内外で環境活動を行っている大阪大学公認サークルです。私たちGECSに所属するメンバーは全員が学生です。その学生に何ができるのか。それは、「地域社会に貢献すること」だと思います。その地域に住み、その地域で暮らし、その地域に住む人々と触れ合いながら、私たちは現代の社会が抱える「社会問題・環境問題」という複雑で難しい問題の改善に日々取り組んでいます。

### SDGs宣言

「行動から楽しくSDGsを考える」を私達の宣言としました。SDGsの特定の目標だけを意識して活動をしていても面白さや楽しさといった要素が足りないため、「大学生も楽しめる」ことを重視したSDGsの取組を実践したいと思います。イベントなどを通じて、SDGsという国際的な問題を考えるきっかけを提供することで、参加者一人一人の行動がSDGsに繋がるようなものになりたいと思っています。「楽しさ」を前面に出すことで多くの方々に関心を持っていただき、多くの方を巻き込んで活動を実施したいと思います。



## 大阪府立大学環境部エコ助

関 郁穂さん  
(大阪府立大学生命環境科学部 3年)

北相模 誠さん  
(大阪府立大学工学部 3年)

宇治田 理紗さん  
(大阪府立大学生命環境科学部 1年)

環境部エコ助は設立17年目となる、環境活動を中心とした部活です。年間の活動は大きく分けて6つあり、農業、壁面緑化、自転車リユース、リサイクル弁当、ミスプリントのリサイクル、環境教育、ごみ拾いです。短期の活動では、一年に二回ある学園祭で模擬店などから出る全てのごみの分別や管理、模擬店にエコパッケージを使ってもらいごみを減らすリデュース、子供向けの環境教育ワークショップなどを行っています。

### SDGs宣言

SDGsという言葉は最近よく耳にしますが、学生の中では十分に浸透しているとは言えません。企業の方が行うような大規模な広報を行えばSDGsについて多くの方々に関心されると思いますが、私達学生が実施する小規模な広報においても、SDGsという言葉が届けられるようにしたいと思います。一つのSDGsの目標にだけ関連した活動を実施しても面白みを感じられないので、SDGsの17の目標を念頭におくことで、一つの活動においても他のテーマとのつながりを持たせられるよう、今後も活動を続けたいと思います。



## 近畿大学農学部 学生団体FeeLink

野津 亮祐さん  
(近畿大学農学部 3年)

市野 梨央さん  
(近畿大学農学部 1年)

藤原 司さん  
(近畿大学農学部 1年)

学生団体FeeLinkは、日々4つのプロジェクトに分かれて活動し、作物栽培・環境教育・緑地体創出・ピオトープ管理、など様々な視点から、環境啓発活動に取り組んでいます。また、プロジェクトごとの活動のみならず、団体全体で、様々な環境イベントへの参加、イベントの企画なども行っています。

### SDGs宣言

本日の研修で日頃の活動を振り返ると、SDGsに関連した活動を数多く実施していることがわかりました。本研修をきっかけに今日参加した私達だけが気付いたものではなく、まずは本日の研修の内容を団体メンバーに共有し、団体内の意識を変えることから始めたいと思います。意見交換の際に、「SDGsは環境系の活動をしていないとなかなか知らない」という意見が多くあったため、SDGsに取り組む者としてもっと多くの人にSDGsを知ってもらい、その理念を積極的に普及させたいと思いました。今後のイベント開催時なども積極的に発信を行いたいと思います。



## 環境サークル eco-SA

吉田 佳奈さん  
(奈良女子大学理学部 3年)

富樫 直子さん  
(奈良女子大学文学部 2年)

安藤 奈名彩さん  
(奈良女子大学生環境学部 1年)

「環境問題を身近だと思ってもらえるように、study&act!」をテーマに、メンバー内で環境問題に関する情報共有を行ったり、様々な環境イベントに参加したりしており、学びと行動のどちらともを大切にしています。結成してからまだ4年目で、自分達のサークル主体の活動は少ないですが、環境問題について詳しくない人や、興味のない人でも、環境問題に関わってほしい!と思えるような活動をしていきたいと思います。

### SDGs宣言

団体のテーマとして「学ぶこと」と「行動すること」は含めていましたが、新たに「広げること」を追加しました。SDGsという言葉は知っていましたが、具体的な内容であったり、どのような活動をすればよいかをあまり意識していなかったため、まずはそのことをサークル内で考えたいと思います。今日の研修では地域内での連携の重要性に気付いたので、SDGsを地域の人達や学内の学生にも広めたいと思います。多くの方々に関わるべきテーマだと思つので、広めた人達みんなを巻き込むように活動を進めたいと思います。



## 三重大学環境ISO学生委員会

山中 晴名さん  
(三重大学生物資源学部 2年)

近藤 大地さん  
(三重大学生物資源学部 1年)

・3R活動として古本回収・再生可能容器「リ・リ・パック」の回収  
・ごみ分別の推進・学内の放置自転車対策活動・清掃活動  
・緑化活動として、屋上緑化・緑のカーテン・学内の落ち葉を利用した堆肥づくり  
・地域の方々と協力する海岸清掃・地域の小学生への環境に関する授業の実施、地域の環境イベントへのブース出展などを通して、学生の環境意識の向上を目指しています。

### SDGs宣言

SDGsはスケールが大きく、何をすればいいかがつかみにくい部分があるので、まずはグローバルな視点から自分達が住む地域に落とし込み、自分達の地域での活動を進めることにより、SDGsの17の目標の達成を目指したいと思います。SDGsの目標達成のための活動をするのではなく、日頃の活動一つ一つに取り組むうちに自然とそれがSDGsにつながられるようにしたいと思っています。その点を意識しながら今後の活動に取り組みたいです。

